

令和6年第2回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和6年7月17日

令和6年第2回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

前梅田町長が令和6年5月27日に辞職されたことを受け、先に執行された町長選挙におきまして、「地域の魅力を活かし誰もが安心して住みたくなるまちづくり」をスローガンに掲げ、町民の皆様から町政運営を託していただきました。

前梅田町長におかれましては、2期7年の長きに亘り町政をけん引され、平成28年熊本地震からの復興、九州中央自動車道の開通を見通しての各種政策の推進に当たられ、改めてその功績に慰労の意を表させていただきます。

また、前町長を含め先輩諸氏の指導のもと、行政職員として経験してきたことが、今の私に繋がったものと感謝の念に堪えません。

まずは、ご支援をいただいた多くの方々からのご期待にお応えするとともに、すべての町民の想いを心に留め、町村合併以来、約20年に渡り、3代の町長から受け継がれた「山都の礎」を活かし、山都町が一丸となって、「人口減少による少子高齢化問題」を始めとする町政の課題に対応できるよう、各種施策を推進して参ります。

昨年度は、新道の駅の開駅、九州中央自動車道山都通潤橋Ⅰ

Cの開通があり、本年4月には、総合体育館パスレルを開館し、関連事業を継続して進めている最中であります。改善された交通環境を踏まえ、さらに観光収益の底上げを図り、町民が一丸となった町づくりを次の段階に進める時期にきていると思っています。

これからは、熊本県の県央、また、「九州のへそ」としての拠点性をさらに活かし、数多くの歴史や伝統文化、雄大な自然に恵まれている我が町において、もともとある資源と人材をより一層活かすことで、多くの人を引き付け、魅力のある「全国に誇れる山の都」となるよう、歩みを進めなければなりません。

そこで、私は、誰もが「住みたくなる」「住み続けたいくなる」、安心して生きがいを実感できる「山の都づくり」を進める取り組みとして、9つを掲げました。

- ①持続可能な農林業を核とした山の都づくり
- ②子育て家庭が安心して生活できる山の都づくり
- ③将来に夢と希望を持つ子どもが育つ山の都づくり
- ④高齢者が元気で生きがいを感じられる山の都づくり
- ⑤自然環境を守り、安心して暮らせる山の都づくり
- ⑥観光資源を最大限に活かし、伝統文化を後世に受け継ぐ魅力あふれる山の都づくり

- ⑦公共インフラの整備を進め、住みよい山の都づくり
- ⑧地域経済の好循環をつくり、活気あふれる山の都づくり
- ⑨行財政を見直し、住民に寄り添った親しみのある山の都づくり

これらを、町民の皆様と共に一丸となって取り組むことで、大きな流れを創り、人口戦略会議が公表した「消滅可能性自治体」から脱却できるよう取り組んで参ります。

町民の皆様におかれましては、積極的に町政に関わっていただきますよう、切にお願いいたします。

次に、今定例会に提案しております議案につきまして、概要をご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は、条例1件、補正予算3件、その他3件の合計7件です。

条例1件は、条例の一部を改正するものです。

補正予算3件は、令和6年度の一般会計及び事業会計に関するものです。

その他3件は、令和5年度の簡易水道特別会計及び事業会計の決算の認定に関するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切な決定をいただきますようお願いいたします。